



788T

- ・ 8マイク/ライン入力
- ・ 12録音トラック
- ・ 8 フェーダー
- ・ AES42 マイク

788T デジタル12トラック オーディオレコーダー



788T は 8つの入力を備えた 12トラックオーディオレコーダーです。7 シリーズレコーダーの実績を踏まえて、現場で求められる機能をフィーチャーしたコンパクトかつマルチチャンネルトラックを実現しました。

8つ全ての入力にフルファンクションを内蔵させたマイク・ライン入力は、7 シリーズ同様の高品質オーディオ回路を踏襲。

48V ファンタム電源は 8つ全ての入力に、マイク入力だけでなくライン入力に対しても使用することができます。

ハイパス・フィルター回路と入力リミッター回路を 8 入力すべてに内蔵しています。

トラック・ルーティング機能に加え、内蔵 DSP 処理フェーダーによるミキシングが可能。オプションの CL-8 はフィールドでの STEREO ミックスを強力サポート。

788T の録音メディアは 160GB の SATA 内蔵ハードディスクとコンパクトフラッシュだけでなく、FW 接続された外部記録メディアにも同時に録音することができます。

Mac OS や Windows へハイスピード USB か、FireWire400/800 で接続することで、788T を大容量記憶装置として認識させることが可能です。

周辺機器との柔軟な接続に、AES3 デジタル 8 入力と AES3 デジタルバランスの 6 出力を備える他、AES42 デジタルマイクロフォンを 4 本接続することができます。

788T は高精度タイムコードジェネレータを内蔵しています。

USB キーボードを接続しての直接、メタデータを入力することができます。キーボード・ショートカットは、メニューへのアクセスやマシントランスポートの制御が可能です。



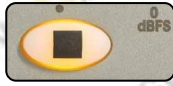
788T に CL-8 を装着



充実したバックライト

FF / PLAY / REW キーなどに透過型バックライトを採用しました。また、STOP / REC キーは通常のバックライトの外に、動作状態もバックライトで示しています。

停止中はSTOP キーがアンバーに、録音中はREC キーがレッドに点灯します。



フロント LCD パネルもバックライトがカラフルになり、動作状態に応じて、パープル・グリーン・レッドと変化します。停止中はパープル、再生中はグリーン、録音中はレッドです。



インプット・アクティブ・リング LED は、入力された音量に応じてグリーンとレッドに光ります。リミッター ON の設定でリミッターが効くとイエローに点灯します。



入力ゲイン・ポット

入力ゲイン・ポットを一番左まで回しきると、そのチャンネルの電源を OFF にして電池の消耗を抑えることができます。

ゲイン・ポットの近くにあるトグルスイッチは、左に倒すと奇数、右に倒すと偶数のチャンネル設定モードとなります。トグルスイッチはクリックホールドになっており、入力設定画面ではソロモードに入ります。



入力設定画面では、入力・リミッター / ファンタム電源 / フィルター / フェーズ / ルーティングの各項目を表示し、必要に応じてボタン操作により設定を切替えることができます。

CL-8 オプション

USB 接続によるリモートコントロールオプションの CL-8 は +15dB までゲインアップ可能なフェーダーを 8 ケ備えます。CL-8 からステレオバスへのルーティング、LIM や HPF の ON/OFF を設定することもできます。

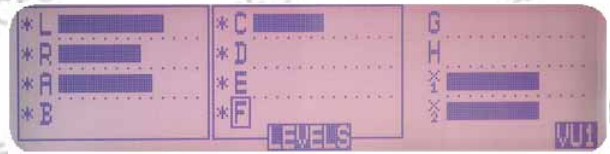
CL-8 は計 3 ページを ALT キーで切替えて使用します。SLATE キーは 788T 本体内部のマイクروفोनで録音、コミュニケーションに活用できます。



ルーティング

INPUT キーを押すと、LCD メーターで全 12 トラックのレベルを確認することができます。

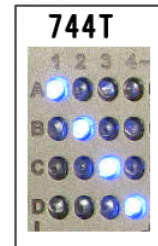
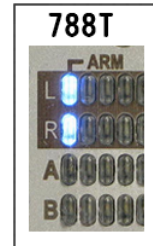
左側の * マークは録音イネーブルマークです。ロータリースイッチで REC アームすることができます。



ルーティング LED

788T は、8 INPUT / 12 TRACK とマルチトラック化されました。複数のINPUT から同一トラックへルーティングしてミックスすることもできます。

トラックがアーミングされると、録音トラックの ARM LED にブルー点灯で表示されます。



744T では、4 INPUT / 4 TRACK のマトリクス・ルーティングを計 16 個の LED で表示します。

ミキシング機能

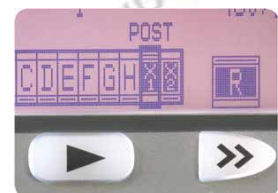


マイクロフォンの 8 入力をディスクリットで各トラック (A ~ H) に録音しながら、2 種類のミックストラックに同時に録音することができます。

ミックストラックは L/R と AUX があり、それぞれマスターレベルコントロールがあります。

Track A ~ H は必ず Pre-Fader で録音され、L/R ミックスは必ず Post-Fader で録音されます。

AUX ミックストラックは、Pre / Post を CL-8 キー長押しして切替えることができます。Post は赤、Pre は緑でルーティングを示します。



SYNC 入出力

サンプリング周波数の同期信号は、BNC コネクターにより入力可能です。

744T が WORDCLOCK 信号のみだったのに対し、788T では NTSC 信号や PAL 信号などのビデオ信号にも同期します。また、AES/EBU 信号を D サブ 15 コネクターへ入力すれば、デジタル音声信号に同期することもできます。

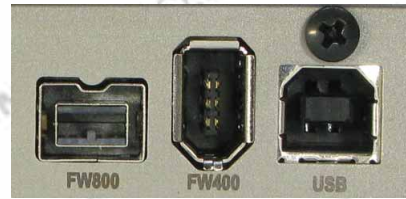
サンプリング周波数は 48kHz まで対応です。



SYNC 信号の出力は WORDCLOCK 信号のみとなります。

IEEE1394 a&b と USB 2.0

FW400 だけでなく FW800 コネクターも装備し、ファイル転送スピードの高速化を実現しました。FW400 と FW800 は Mac や Windows に接続できるだけでなく、FW ポートを有する外部記録メディア (HDD や DVD-RAM など) を接続してダイレクト録音 () することもできます。



744T で必要だった IEEE1394 電源フィルターは、内蔵されたため必要なくなりました。

USB B タイプコネクターは、788T を Mac や Windows へ接続するためのポートです。USB に外部記録メディアを接続してもダイレクト録音することはできません。

USB コネクターによる PC 接続では、内蔵 HDD と CF を認識します。FW ポートに接続されたメディアを USB 接続から認識することはできません。

録音メディア

内蔵 HDD と同時に、コンパクトフラッシュ、外部ドライブ (FW 接続) に録音することができます。

8トラックまでは、3つのメディアに同時録音することができます。9トラック以上は内蔵 HDD ともう一方のどちらかのメディアに限定されます。



電源入力コネクター

電源入力ピンは PIN-1 と PIN-4 だけとなり、内蔵バッテリー充電モードは MENU から設定します。

788T 電源 OFF 時に充電しないように設定すれば、外部バッテリーの消費を抑えることができます。



744T では、PIN3 に電源供給されると、ユニット ON の時に充電されます。

C.LINK コネクター

将来的に 7 シリーズレコーダーとカスケード接続に使用されます。現在、オプションの CL-1 を接続して GPI コントロールが可能です。



788T の C.LINK OUT はまだ使用できません。

SOUND  **DEVICES**

ゼネラル通商株式会社

〒101-0053 東京都千代田区美土代町 5-2

tel:03-3293-2271 Fax:03-3293-3885

E-mail: sales@gentrade.co.jp

製品の仕様は予告無く変更される場合があります。(2008.12.09)